

# 奥多摩氷川キャンプ

2014年8月3・4日 リーダー:藤井 一義



↑多摩川を背景に集合

## 「奥多摩氷川キャンプ」の報告 リーダー 藤井 一義

今月は遊友ハイキングクラブで入会以来、初めての夏キャンプ会です。委員の小倉さんに協力していただき5月のうちにバンガローを当たって予約をしておきました。今年は自分の仕事も忙しくて時間的に苦慮しましたが、行動予定の時間割やら、キャンプ場資料、日帰り温泉、周辺ハイキングとかそして道具集めに食材の段取りと資料集め等々せわしなかったです。天候は、台風が発生していましたが、関東地区はまだ影響ないようですが夕立はあるようなので河原のキャンプは注意がいるかも、しかし今回はキャンセルと追加者でバランスとれてメンバー22人でテント使用はなしとなりました。土曜日が前日食材購入と道具集めに時間が取れて、きよみ食材委員に数人のせんげん台組が手伝い購入し、クーラーボックスや道具類も車担当が数件お宅に伺い載せました。今回はバス利用でなく車組と電車組になり、約半々で人員調整し交通費は両組とも電車賃相当を自己負担で計算します。ハイキング候補地を探しましたが、予定コースが落石などでふさがれたりの情報があり、キャンプ場周辺で時間調整に変えざるを得なくなってきましたが、キャンピングで十分時間も食いそうぞうで楽しめるという事にしました。さて当日は快晴です、車組は3台で変更もあり8人になり、せんげん台に6時過ぎに出発になってしまい、電車組は小倉リーダー引率です春日部7:24発で12人出発しました(1名後追い)。車組は食材の肉類を店が7時に開店の北上尾肉店で入手し少々時間を取られて7:45再出発、上尾桶川IC～青梅ICで降りて奥多摩駅に9:30頃に到着、キャンプ場で入場受付、駐車場に入り、歩いて駅に電車組を10:00前に出迎えました。再びキャンプ場に戻り手続きして、今日と明日の予定と注意事項など説明し、荷物は各車にあづかったの、昼食と飲み物の軽装になり周辺で時間調整、自分は目印のパラソルとテントを車に積んできたので、みんなに協力してもらって



↑テントでくつろぐ藤井リーダー

バンガローに入れる前の休憩所を設けました。スイカやトマト野菜にビールなど網に入れて河辺に冷やしテントシート場で自由昼食にして、缶ビールを味わってくつろぎました、間もなくバンガローがチェックインできるとなってバンガローに、15人用に女子、7人用に男子で入室し15時前からバーベキューコーナー

(バンガロー予約者は自由に使えた) 場所で、バーベキュー会となりました。全員でわあわあ言いながらも、熱心に作ってくれる人も、手出ししないでもっぱら食べる人も、とそれぞれですが、みんな楽しんだようです、途中で雷の音がして、川の水かさが増えてきて冷やしていた食材を戸邊さんら数人が探しに行ってくれたりとありましたが無事スイカが戻りそのおいしかったこと、残りの火でキャンプファイヤーの代わりにし線香花火をしたり楽しみました。日帰り参加の市川さんが21時に引き上げ拍手で見送り、かたづけ後は日帰り温泉に歩いて8分とか、でも少し遠い気がしたかな、湯につかりバンガローに引き上げて、雑談でビールを飲んでから就寝しました。翌日は暑いし、ハイキングはやめて、朝食は昨日の続きみたいになり寸胴でご飯を温め、サラダや佃煮で朝食でしたが結構おいしいから不思議です。かたづけ後はチェックアウトして、電車組と車組に分かれ自由解散となりました。両方とも、午後2時過ぎと3時頃には全員帰宅できました。車の運転で到着後にせんげん台恒例の反省会ができなくて少し残念?。食材買い出し担当の方、車運転手の方、道具類提供の方々と皆さま協力ありがとうございました。



## 8月山行「奥多摩(氷川)キャンプ」に参加して／戸邊茂雄

8月3日(日)～4日(月)、東京都西多摩郡奥多摩町の氷川渓谷にある氷川キャンプ場でのキャンプに参加しました。氷川キャンプ場はJR青梅線の奥多摩駅から徒歩5分ほどの多摩川沿いにあり、敷地内に多くの巨樹・巨木があり、キャンプをしながら森林浴気分を味わえるキャンプ場です。

8月3日(日)、参加者21名は、車組(8名)と電車組(13名)に分かれて出発しました。車組は3台の車で、せんげん台駅に5:50に集合し6時出発、電車組は春日部駅7:24発の電車で行きました。私達車組は途中で肉屋に寄って、肉、魚、西瓜などを買いまして9:30に氷川キャンプ場に到着しました。電車組が10時頃に奥多摩駅に到着するので歩いて駅まで迎えに行き、遅れてくる一人を除いて20人が揃いました。しかし、バンガローが使えるのは14時からです。荷物は車に積んだまま、14時まで河原で水遊びをしたり、お昼を食べたり、ゲーム(ハンカチ落とし)をしたりして過ごしました。14時になり、漸く荷物をバンガローに入れ、薪や炭を買ったり、鉄板・網を借りたりして夕食の準備に取り掛かりました。女性陣の殆どが近くの温泉に行きましたので、男性陣と温泉に行かなかった女性とで料理の下準備を始めておりました。すると先程まで澄んでいた多摩川の水が茶色くなっているではありませんか。そして水量も少し増えております。上流で雨が降ったと思われます。午前中に、ネットに入れてビールや西瓜を川に冷やしておりましたので「たいへんだー」と叫んで作業を止めて川に走り出しました。案の定、ネットは流されておりましたが、近くにいた若者たちが確保してくれておりました。ビールを何本か頂いて飲んだと言っておりましたが、お礼に更にビールを3本ほど渡して持ち帰りました。もしもネットごと全てが流されてしまっていたら大変な事でした。やがて、温泉に行っていた女性陣も戻り、遅れていた一人も到着し、21人全員が炊事場に集まって夕食の料理に取り掛かりました。鉄板や網に載せられた肉、野菜などが焼け始めるとビール、酒がすすみ、話に花が咲きました。しかし、猛暑の上に火の傍は熱く汗が滴り落ちてきました。最後に焼きそばを焼いて食べ、デザートに西瓜も食べてお腹いっぱいです。そして、食事の後は全員で線香花火を楽しみました。その後は、食事の片付けをしてから近くにある多摩川温泉「もえぎの湯」に行きました。20:30までに行かないと入れないと言う事でしたがぎりぎりセーフで入浴できました。温泉から戻って、女性陣が泊まっているバンガローを見ると既に消灯して寝てしまっておりました。私も前日までの吊事の疲れと満腹でもうお酒を飲みたい気分ではなかったので早めに休みました。



↑多摩川を背景に。戸邊さん

キャンプ場の利用者の殆どは若者です。早く就寝したのは我々のグループだけでしょ。一晩中、他のバンガローの灯りは点いていて話し声も絶えませんでした。朝方ようやく静かになり、川の流れる音だけになったかと思ったら夜が明けてきて、同時にヒグラシ蝉が鳴き出しました。私も5時前に起きだして、顔を洗ってからカメラを片手に川べりを散歩しました。濁っていた川の水は一夜明けてもうすっかり澄んでおりました。誰彼ともなく次々と起き出してきて、自然に炊事場に集まってきて、誰かが号令をかけるでもなく、朝食の準備が始まりました。朝食はご飯とサラダ、野菜炒め、味噌汁、デザート、コーヒーなどでお腹いっぱいになりました。後片付けをし、10時にチェックアウトをして全員帰りの途に就きました。一人がタベの内に帰り、10人が車、残りの10人が電車で帰ることになりました。私達車組は途中で蕎麦屋に寄って、お昼を食べて帰りました。運転手には申し訳ないがビール、天井、蕎麦でまたもや満腹になりました。せんげん台に着いたのが14:30頃でした。こんなに早く帰ったのは初めてです。いつもお酒を飲みながら反省会を行うのですが、田中さんの車に乗った運転手の田中さん、浜ちゃん、西川さんと私の4人は喫茶店での反省会となりました。電車組はもう到着したかどうかと喫茶店のすぐそばに自宅がある岡本(奈)さんに電話したら、ほんの少し前に着いたところで、奈さんも加わって結局5人で反省会を行って、15:30に帰宅しました。

今回はキャンプの他に滝の見学や御岳山登山などのオプションも企画されておりましたが、結局キャンプだけになりました。ゆとりをもって楽しめたので、欲張らずに良かったと思っております。キャンプ道具、食材の調達等、事前準備から現地での指揮まで目いっぱい走り回ってくれた藤井リーダー、運転の藤井さん、松島さん、田中さん、会計とりまとめの豊島さん、食材リーダーのきよみさん、沢山の野菜を提供してくれた梅ちゃん、そして全員で行った食事の支度、みんなで協力して楽しい夏の思い出ができました。皆さん、ありがとうございました。



↑西谷さんと岡本八重子さん

### 多摩氷川キャンプ場の体験／

**岡本 八重子** 30年ぶりのキャンプ生活一泊は皆さんに活気がありとても楽しかったです。あれやこれやの行程を取りやめ折角の避暑地?でのんびりと過ごせました。そのお蔭で皆さんとお話し交流が持てました。夜早く寝てしまひすみませんでした。夜の交流を楽しみにしていた方がいらしたとか。準備に大変な労力を惜みずリーダーの藤井さんはじめお手伝いをしてくださった方々にお礼を申し上げます。



↑川でトレーニング中のきよみさんと豊島さん



↑肉の処理ならオレと伊藤会長



↑手前新入会の根岸さんと右村田住子さん



↑お待ちかねのバーベキュー大会



↑ゲームで鬼になった市川さん



↑朝食の後の団欒



↑いつも賑やか